

広報

# あさひまち

5

1990  
MAY  
月号  
NO.402

ASAHI-MACHI



シリーズ “働く”

## 花を求め自然をかける蜂蜜屋さん

りんごの花が咲き始めると、毎朝四時に起きて巣箱の設置や見回りをする。子どもの頃から花や虫が好きで、高校卒業と同時に家業の養蜂業を継いだ安藤竜二さん（大町・26歳）。冬期間は花を求めて千葉県房総半島

まで行き、サクランボやりんごが咲き終わると、トチやキワダの花を求め朝日の大自然へ。「よいらんごづくりには、丈夫で元気な蜜蜂は欠かせません」と語る優しい目の奥に、キラリと光るものが見えた。



子ども会の廃品回収もリサイクル運動の1つとして貴重な活動に（大谷二）

# ゴミを減らし きれいな町づくりを

## ただいまゴミ減量作戦展開中

私たちのくらしは、ゴミを出す生活の連続です。いま、増え続けるゴミをめぐって全国的にも関心が高まっています。

今月は、ゴミ処理の現状や今後のあり方などをとりあげます。

### どんどん増える

### ゴミの量

わたしたちの住んでいる周辺を見わたしてみると、道端にビニール袋や空き缶、たばこの吸いがらなどが捨てられているのが目につきます。また家庭においても、ゴミは毎日排出されています。私たちの生活は、ゴミの上に成り立っているともいえるでしょう。

左上のグラフは、町のゴミ収集車が町内で過去十年間に集めた、生ゴミと危険物の量の推移を表わしています。はじめに生ゴミについて見てみましょう。昭和六十一年度まではわずかづつ増加していますが、昭和六十二年度は減少しています。これは生ゴミ処理容器コンポスターの普及によるところが大きいと思われまます。その後三年間は増加の一途にあります。

一方危険物についてはわずかな増加傾向で推移していたのが生ゴミ同様ここ三年急激な増加を示すようになってきました。

これは世の中の好景気を反映しているようです。飽食の時代といわれるほど発達した食生活によって、大量の食料を買い込

み食べきれなくなつて捨てるという状況です。また、テレビ、洗濯機などの耐久消費財についても、新型製品に次々と買い換えたり、まだ使用できるのに粗大ゴミとして搬出されたりしているのではないのでしょうか。

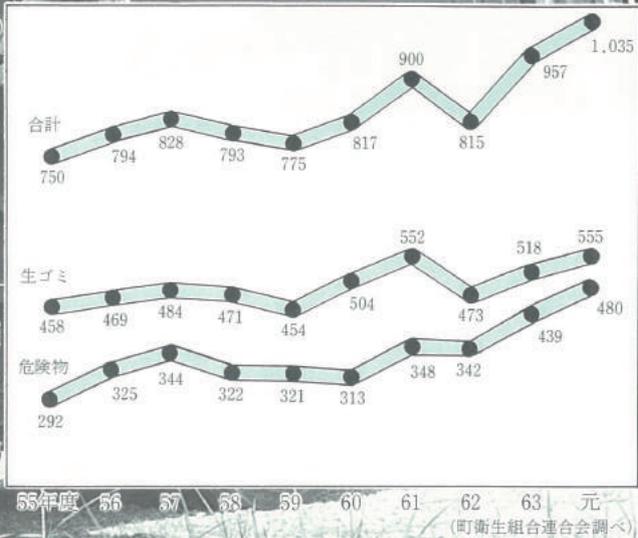
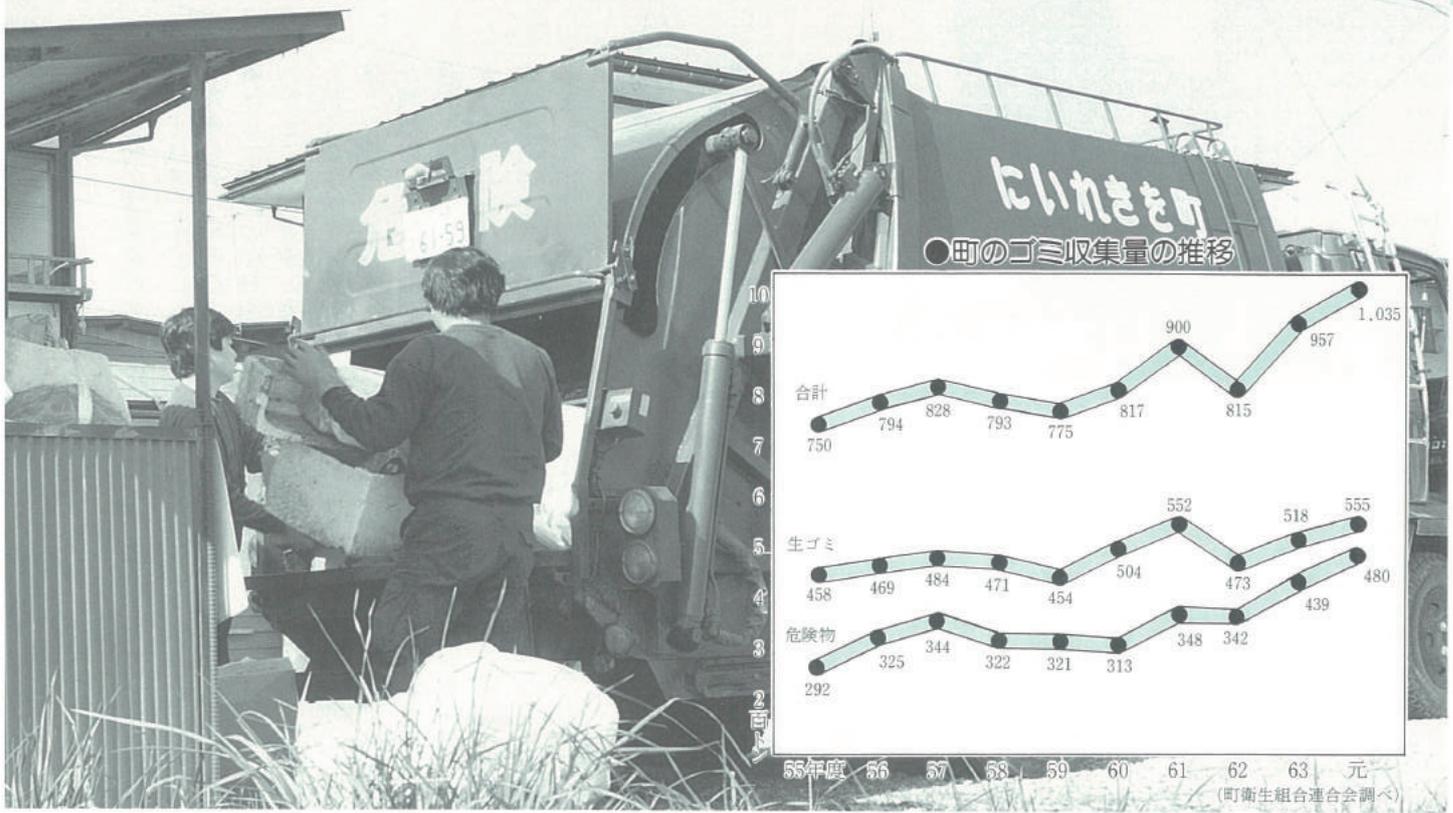
家庭から排出されるゴミの量はわずかでも、町全体となるとほう大な量になり、それを処理するために私たちの貴重な税金が燃やされているのです。

### ゴミはどう処理

### されているの

私たちの家庭から出されたゴミはどのように処理されているのでしょうか。寒河江市にある西村山広域行政事務組合のクリーンセンターでゴミ処理の様子を見学しました。

まず、生ゴミ(可燃物)について見てみますと、ゴミ収集車がセンターに到着するとまず、車ごと重量を計ります。そして貯塵ピットと呼ばれるゴミだめめに一時貯留され、かくはんし水分を除きます。その後二ヶ所の投入口より焼却炉へ搬入し、燃やされます。一日の処理能力は80ト。この灰は凝縮されたあと、大平山の埋め立て地へ運ばれて



処理されています。

一方危険物(不燃物)については、これまで寒河江市幸生の大平山へそのまま埋め立てられていましたが、最近の急激な量の増大に、このままでは対処できなくなる恐れがでてきたため、センター内に粗大ゴミ処理施設(破碎機)を新たに建設し、大平山の延命化を図っています。

収集車によって搬入された危険物は、破碎機に投入されると自動的に五種類に選別され、鉄とアルミニウムは再生業者に引き取ってもらい、その他の不燃物は粉々に砕き、プラスチック類は固めて体積を小さくし大平山へ運ばれます。

この破碎機は今年四月二日から稼動していますが、一日30トンの処理能力を有し、プラスチック類を固めることができるものとしては、東北地方で初めての施設です。しかしこの最新の施設でも、処理できるものできないものがあり、決められた物以外の危険物を処理させようとすると施設の寿命を縮めることとなります。

こうしたゴミ処理にかかる経費は一体どの位になっているのでしょうか。

昭和六十三年度寒河江地区クリーンセンター会計の決算によ

ると、ゴミ焼却費に関する費用は約三千四百六十万円、埋立処理に関する費用として約八百八十万円で、合わせて約四千三百四十万円の経費がかかっています。

このほか昨年度は、新たに粗大ゴミを処理する施設(破碎機)に、約六億五千四百七十万円をかけて整備しており、今後この処理費についても年々経費がかかることとなります。このほか、毎日家庭から出されるゴミ収集についても約八百八十万円ほど町単独でかかっています。

いずれにしても、私たちの快適な暮らしを支えるためには、こうした対策は欠くことができない現実にあります。各家庭で少しでもゴミの量を減らすことによって負担を軽くしていくことが当面の課題といえます。

### 目立ってきた ゴミの不法投棄

また、最近問題化していることの一つにゴミの不法投棄があります。

生ゴミや不燃物、使い古した農機具、自動車に至るまであらゆるものが町内のあちこちに目立つようになりました。自分の土地だけ

ら何を捨ててもかまわないということなのか、そこには安易な姿勢が感じられます。

とくに危険物や粗大ゴミなどの不燃物は、いつまで放置しても腐ることなく自然環境を壊し、見苦しい限りです。また、もしその中に有害物質などが含まれていれば、農地への廃水の流出や生活用水への影響など、私た



ゴミの不法投棄が目立っている



クリーンセンターには毎日40tものゴミが運ばれる



送橋川に流入する沢上川の源泉。この清流を守るのが私達の務め

ちの生活に害を及ぼす危険性すらあります。

昨年の夏、町内のある地区で解体した家屋の廃材を放置していたところ、大量の害虫が発生し近くの学校や民家に被害を及ぼしたことがあります。こうした問題も、責任をもって早目に適切な処理をしていけば解決できた事例であり、私たちの基本的な生活のあり方が問われているといえます。

## 産業廃棄物処理への

## 監視を続けよう

さらに、私たちの身近なもう

一つの問題として、産業廃棄物処理が上げられます。新聞などマスコミの報道によると、関東地方の地価の上昇にともない、首都圏から排出される産業廃棄物が東北自動車道を北上し、岩手や青森まで運ばれている実態が浮きぼりになりました。山形県内には、平成元年に約四万六千トンもの産業廃棄物が運びこまれ、それにとまらぬ処理施設建設などをめぐる反対運動が各地で生じています。

わが町においても、昭和六十年に山辺町の沢上川上流に山形市内の業者が、産業廃棄物の処理場建設を計画。町の同意を求めて働きかけを行ってあります。

これに対しては、下流域にある沢内、和合など川水を生活、農業用水として利用している千五百人を中心に、町や議会と一体となった反対運動を展開。県や業者に対して計画撤廃の申し入れを行なうなど、生活、自然環境を守るための運動が続けています。

建設予定地については、大蔵地区から朝日町に向う県道山形朝日線の湾曲部で深い渓谷になつており、現在も不法投棄が絶えない地域です。産業廃棄物には、とくに有害物質が含まれている可能性もあり、下流域への排水の影響が心配されることか

(台)

## 粗大ゴミ収集状況

種別	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	合計
テレビ	147	91	113	197	171	719
冷蔵庫	120	74	71	108	120	493
洗濯機	160	77	69	56	85	447
自転車	未集計	20	54	65	56	195
ストーブ	未集計	145	112	105	115	477
2t車で換算	18	21	32	24	26	111

## コンポスター等の普及状況

	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	合計
コンボ130型	30	15	65	15	7	132基
〃190型					6	6基
〃230型	24	22	92	32	22	192基
〃300型			8			8基
エコロース			8			8基
水切りペール	124	32	71	55	36	318ヶ

## ゴミ収集車が燃えた!



## スプレーには穴をあけて

●五百川清掃  
長岡忠志さん(常盤)

毎日町内のゴミ回収をやっていますが、危険物の収集にはとくに気を使いますね。

先日、スプレー缶に残っていたガスが原因で、ゴミ収集車が燃え出したことがありました。最近のスプレーの中味は、フロンガスではなくLPガスを使っているものが多くなったために、金属性のゴミに圧力をかけた時火花が発生し、引火して爆発したんです。私も初めての経験ですが、スプレー缶を出すときには必ず穴をあけてから出してほしいですね。

また奥さん方へのお願いですが、生ゴミの中にトーフのパックや缶詰かんが入っているのをよく見かけます。台所のゴミは全部生ゴミという感覚があるのではありませんが、ぜひ区分してほしい。クリーンセンターに破砕機を導入したことによって、収集作業も一段と厳しくなりました。快適な生活を送る第一歩は、まず決められたルールを守ることからではないでしょうか。

## 捨てないで!

## あなたのキルル

長寿クラブ連合会(大井武会長)では、五月から十一月まで、

# ゴミ出し上手は生活上手

主婦／齋藤 孝子さん  
(ハツ沼)



クリーンセンターで木島技師より説明を受ける齋藤さん

日に日に激しく移り変わる社会情勢の中で、私たちの生活様式や装いも次々に変わり、粗大ゴミの量は衰えもなく増えるばかり。

先日訪れた寒河江地区クリーンセンターの粗大ゴミ処理施設のの前には、まだまだ使えるものが山積みしてあるのには驚きました。

センター技師の木島隆一さんは「限りある資源をムダ使いしているのが現実。運ばれるゴミの中味をみると、資源として再利用できるものも多く、出す前にもっとよく点検してほしい」と語っていたのが印象に残りました。

より高価な物、より豊かな暮らしを手に入れるために、粗大ゴミを搬出しているとすら思われてなりません。うずもれているものに新しい命をふき込み、再利用できるよう心がけ、最少のゴミを出すことが私たちの役割。毎日の細かい家事の積み重ねが、一見同じことのくり返しに見えても、長い間には家庭や地域の生活向上の重みになるのではないのでしょうか。

誰のためでもない、住んでいる私たち自身のための生活工夫、家事技術がまずければ、新製品もすぐだめにしてしまい、家計に損失を与えるかもしれません。より正確に処理できる家事技術を身につけ、生活環境や私たちの身の回りに気を配ることは、主婦としての大切な勉強だと思います。

物を大切にすることを大事にして、「ゴミ出し上手は生活上手」になれたらと思っていますところ。

ら、今後とも関心を高めながら監視を続ける必要があります。

## ルールを守ったゴミの出し方を

スーパーマーケットなどに食料品を買いに行く時、ほとんどパック詰めされて販売されています。それを購入し料理するわけですから、残飯と同時にそのパック類が残ります。それを混同してゴミ袋へ。ちよっとお待ち下さい。ビニール、発泡スチロール類は危険物に分別して搬出しなければならぬはずですが、一人ひとりが、生ゴミと危険物をしっかりと分別することが、

まず一番の基本になります。また、生ゴミについてはできるだけ自家処理を心がけたいものです。土地のスペースがある方は、生ゴミ処理容器コンポストを活用し、減量に協力していただくと同時に、発生した堆肥を花壇や畑に利用することができます。経済的にもゴミ袋を購入するより割安になりお得です。今後生ゴミ減量作戦には、このコンポストが大きなポイントになりそうです。

一方、危険物については、今日のゴミ収集車の火災事故からわかるように、可燃性の物質が入っていたカンやスプレーには必ず穴をあけてから出して下さい。また、今年から中味の見

える透明なビニール袋に入れて出していたり、ことになりましてのでご注意ください。

粗大ゴミについては、年一回の収集になりますが、できるだけ購入先のお店から引き取っていただくようご協力下さい。

生ゴミや危険物、粗大ゴミに共通してご注意ください。ポイントは、搬出日を確認の上、指定場所へ時間まで決められた内容物を出していただくこと。それを守ることが経費を軽減し、なおかつ効率的なゴミ処理を可能にすることにつながるのです。

きれいな町はわが家から、緑豊かな美しい町にふさわしいと、豊かさを心がけたいものです。

## ふるさとクリーン作戦



大谷三区のみなさん

毎月一日を社会奉仕の日と決め、道路、公園の清掃活動を続けて七年になります。

五月一日、五月晴れの早朝、地区毎に分担区域内のゴミ拾い開始。大谷三の白田要助さんは、「運動を兼ねてのクリーン作戦、実に気持ちが良い」と元気いっぱい。「ちよっと人家がないと、車からのポイ捨て空かんが散乱。最近特に運転者のマナーの悪さが目立ち、拾ってもひろつても空かん公害は後をたたない。まるで、いたちごっこです。モラルの向上が大切」と奉仕活動のみなさんが訴えていました。

スローガンだけでなく、ひとり一人の行動で、きれいな町にしたいものです。

## 無火災へ誓い新たに

### 春季消防演習開く



この規律正しさが消防精神の基本です

時おり冷たい春風が吹きつける中、恒例の春季消防演習が朝日中学校グラウンドで開催されました。

当日は、午前中内演習を役場前駐車場で行ない、午後から会場を朝日中に移動して実施。四百六十名の団員と自動車ポンプ四台、積載車六台、小型動力ポンプ四十八台が勢ぞろいし、日頃訓練しているポンプ操法や小中隊訓練を披露。見学者から盛んな拍手が送られました。

また宮宿中央通りでの火災防ぎょ訓練では、広域消防本部より救助工作車が出動し、模擬救出作戦を展開。分列行進では、三保育園の幼年消防クラブの「火の用心行進」があり、子どもから大人まで無火災を誓い合った一日でした。

演習終了後、消防団員並びに消防関係者で功績のあった方々の表彰式が行われました。

#### ● 県知事表彰

▼ 金条章 第二分団第二部

▼ 特別功労章 遠藤憲一(三分団副分団長) 佐藤峯男(二の六)

▼ 功労章 富樫清志(一の二)

清野直治(二の四) 児珠孝董(二の二) 阿部為吉(二の四) 石黒祐次(二の六)

▼ 功績章 菅井恒好(一の三) 柴田実(一の六) 長岡秀美(二の二)

阿部壽雄(二の三) 鈴木竹松(二の五) 白田守司(三の二) 白田光広(三の三) 佐久間貢一(三の四) 武田良一(一の二) 高橋貞夫(二の四)

▼ 精錬章 富樫要悦(一の二) 阿部彰(一の二) 菅井弘行(一の三) 清野雅英(一の四) 岡崎吉博(一の五) 渡辺富男(一の六) 長岡信之(二の二) 長岡典巳(二の二) 阿部和芳(二の二) 阿部重春(二の三) 鈴木芳文(二の五) 村山順一(三の二) 鈴木義昭(三の二) 白田文男(三の三) 遠藤清美(三の四)

▼ 内助の功労者

長岡栄子(大舟木)

## 町民と町政を結ぶ。ハイプ役

### 平成27年度の新区長さん

五月十一日、区長会の春期総会が中央公民館大ホールで開催されました。席上、長年区長として活躍され今回退職された次の方々に、自治功労表彰などが贈られました。

#### ▼ 自治功労表彰 (敬称略)

鈴木正雄(栄町)、高橋留夫(平)、鈴木正雄(八ッ沼)

#### ▼ 感謝状

菅井新次郎(小原)、菅井安蔵(沼向)、渡辺久雄(大隅)、相座良雄(送橋)、阿部徳雄(下芦沢)、長岡正司(松原)、村山修(大谷七)、川村貞四郎(舟渡)、志藤昇一(川通)

#### ▼ 内助の功労者

鈴木ふみよ(栄町)、高橋つよ子(平)、鈴木いつの(八ッ沼)

#### ▼ 新区長

( )内は世帯数

本町 多田 秀雄(99)

西町 安藤 八郎(124)

栄町 安藤 芳雄(75)

助ノ巻 布施 正(57)

大町 鈴木清次郎(83)

元町 海野 敬次(73)

西原 阿部 鶴雄(32)

前田沢 今井 幸雄(74)

新宿 熊谷與志雄(52)

四ノ沢 石塚 誠一(62)

小原 鈴木昭一郎(55)

宿 佐藤 正道(44)

沼向 峯田 定雄(45)

平 佐藤 秀夫(19)

大隅 鈴木 啓一(38)

古楨 中村 恵助(30)

送橋 清野 三吉(39)

下芦沢 岡崎 孝雄(40)

水本 岡崎 光夫(29)

杉山 鈴木 鴻(38)

松原 松尾 信明(40)

宇津野 浅岡 安吉(45)

大滝 柴田 喜一(29)

雪谷 鈴木喜美夫(15)

常盤 佐竹 国雄(108)

夏草 阿部 正一(48)

長沼 松田 正蔵(24)

西船渡 鈴木 昭(54)

八ッ沼 佐藤 千歳(50)

能中 伊藤 正一(43)

高田 佐竹 昭一(17)

太郎一 阿部 貢(64)

太郎二 菅野 久雄(40)

太郎三 長岡 正昭(27)

石須部 長岡弥左衛門(14)

立木 阿部 正二(52)

白倉 阿部 英(26)

消防団の組織体制

団長	渡辺 金二	一の部長	武田 良一
副団長	白田 雄一	一の二部長	阿部 彰
本部付分団長	田川 順一	一の三部長	菅井 恒好
同 分団長	伊藤 吉正	一の四部長	渡辺 忠義
同 副分団長	松尾 芳明	一の五部長	岡崎 信博
第一分団長	柴田 彰亮	一の六部長	渡辺 富男
同副分団長	菅井 賢一	二の二部長	長岡 信之
第二分団長	鈴木 秀一	二の三部長	阿部 重春
同副分団長	大井 寿一	二の四部長	高橋 貞夫
第三分団長	高取 俊光	二の五部長	鈴木 芳文
同副分団長	遠藤 憲一	二の六部長	石黒 祐次
		三の二部長	堀 敏男
		三の三部長	白田 幸雄
		三の四部長	白田 光広
		三の五部長	佐久間貢一
			五十嵐義行

“福祉隣組事業”を推進

民生児童委員協議会総会

佐直さんと阿部さんに厚生大臣表彰



4月27日、町民生児童委員協議会（斉藤八蔵 総務・35名）の総会が、いもがわ温泉（高齢者 生産活動センター）で開催されました。

はじめに、厚生大臣特別表彰の伝達式が行われ、15年以上にわたって民生児童委員として地域福祉の向上に力を尽された本町の佐直信雄さんと立木の阿部惣五郎さんに、小林町長より表彰状が手渡されました。

その後総会に移り、今年度の重点事業などについて協議。特に同協議会では、本町の高齢化比率が21.2%と高い現状に対応するため、「福祉隣組モデル事業」の推進を社会福祉協議会と連携しながら展開することにしています。



演習時には必ず参加してくれる 保育園児による「火の用心行進」

アイジー工業 朝日工場

昨年五月から工場の新築工事を行っていた、アイジー工業株式会社（石川堯社長）朝日工場が、量産化試験ラインの操業を開始。四月二十六日、小林町長や町議会議員、関係者など七十名が出席してテープカットを行いラインの完成を祝いました。

席上石川社長よりあいさつがあり「町民の熱意と人情のこまやかさ、また自然の美しさに感動し当初の計画を変更し、生産ラインの導入を図った。当面は試験操業であるが、来年度は月産二万平方メートルをめざす」という力強い言葉がありました。

朝日工場で生産される製品はセラミック製の建材で、世界でも類をみないスピードで量産化できるライン。

試験ライン操業開始

将来は、現在のラインを順次拡張し月産二十万平方メートルの建材出荷をめざす予定です。



テープカットを行ない完成を祝う 小林町長（左）と石川社長（中央）

松 程	阿部 正義 (118)	大谷七	村山 栄 (15)
大舟木	佐藤弥喜致 (33)	中 沢	堀 敬一郎 (40)
今 平	鈴木喜兵衛 (22)	真 中	阿部 春雄 (40)
大谷一	大谷 啓 (38)	舟 渡	堀 真一郎 (30)
大谷二	渡辺 盛夫 (40)	栗木沢	佐久間清夫 (83)
大谷三	菅井 覚 (42)	川 通	志藤 功雄 (25)
大谷四	白田 朝雄 (35)	大暮山	阿部儀右エ門 (49)
大谷五	長岡石五郎 (72)	大 沼	白田 隆 (39)
大谷六	白田 慎一 (50)	大谷連合	渡辺 仁蔵

# 大集合!

## 第42回朝日町成人式

春恒例の行事、第四十二回朝日町成人式が四月二十九日中央公民館で行われました。今回の対象者は、男性六十三名、女性六十四名の百二十七名で、式典にはゴールデンウィークを利用して帰省した四十名も含め百三名の新成人が出席。式では小林町長より、「諸君の持つている若い情熱と英知を傾け、しなやかな感性とたくましい行動力をもって精進して



背広姿もりりしい男性たち



を使っての鏡開き



はたちの笑顔



渡辺康彦実行委員長の誓いのことば

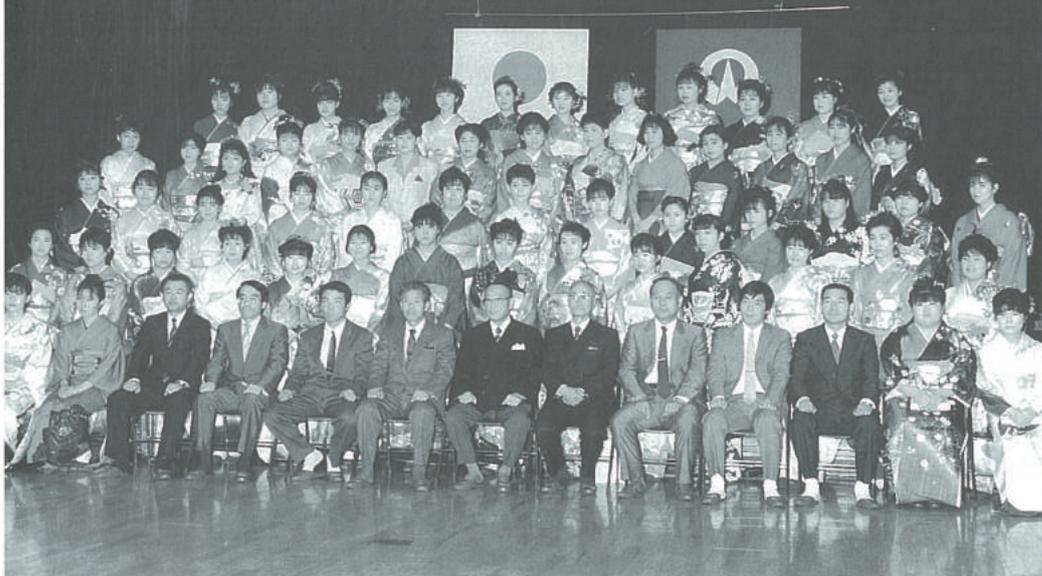


会場へ向かう姿は当日の雨もまったく苦にならない様子



前夜祭はレーザーディスクも使いカラオケ大熱唱

祝成人 42回 朝日町成人式



着物姿もあでやかにハイ・ポーズ

# 青春仲間

ほしい」という式辞があり、それに答えて送橋の渡辺康彦さんが「大人としての自覚と責任を持ち、りっぱな成人になるよう努力します」という誓いのことばを述べました。

その後は、連合青年団が準備した餅つき大会や祝賀会に参加。久しぶりに会った同級生や恩師と、グラスを片手に青春談議に花を咲かせました。



記念写真がすめばこの笑顔

◀さながら着物ショー  
といったところ

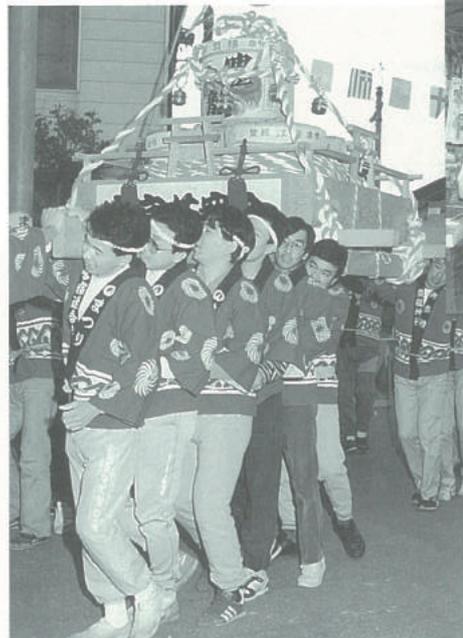


それじゃ、つくぞ。ホイきたまかせて!



おめでとう、ワインで乾杯!

■連絡先  
 役場企画情報課  
 企画広報係へ  
 ☎67-2111 (内222)



かけ声も勇ましい手づくり樽みこし



「へいばな国体」のマスコットたいき君

## 「ツイヤ!、ツイヤ!」

**前夜祭** 手づくりみこし練り歩く  
 にぎやかに豊龍まつり

境内にかがり火をこうこうと燃やす。法被姿に豆しぼりの手ぬぐいをきりりとした威勢のいい若衆がぞくぞくと集まってくる。

五月二日午後六時。豊龍神社祭礼の前夜祭が始まろうとしている。今年は宮宿若衆会(鈴木徳博会長)が前夜祭をもつとにぎやかにしようとして二か月がかりで、重さ三百キ、担ぎ手五十人を要する樽みこしを製作。

神事で清めてもらった後、頭の音頭で景気よく一本じめをしていざ出陣。

宮宿五区内を約三時間かけて練り歩くという強行スケジュールに、担ぎ手たちは水(?)を補給しながら大熱演。沿道の人たちからは次々と御祝が届き、肩の痛さも忘れてがんばっていました。



## わたしの おばあちゃん

大谷一 白田 聡子さん  
 (大谷小4年)

白田まつ子さん  
 (66歳)

私のおばあちゃんは、じいちゃんやお父さんのおかし作りを手つだったり、とてもよく働きます。

それに、つけものをつけるのがとても上手です。とくに、なすづけやきゅうりづけは、とてもおいしいです。わたしは、ばあちゃんがつけるものなら全部好きです。これからも、ばあちゃんがつける、おいしいつけものをたくさん食べたいです。

## 県外チームが初参加

### 朝日町長杯剣道大会

四月二十九日、第十二回朝日町長杯争奪少年剣道錬成大会が朝日中学校で九十二チーム、六百名の選手が参加して開催されました。

今年には県内はもとより、宮城古川北中学校と宮城不動堂中学校の県外チームも初参加。本大会のレベルの高さを表わすものとなりました。

大会の結果は次のとおりです。



少年剣士でいっぱいになった朝日中体育館

- ▼(部門別の優勝チーム)
- ▼小学男子/みずき剣道スポ少
- ▼小学女子/大谷剣道スポ少A
- ▼中学男子/朝日中A
- ▼中学女子/朝日中



# 町民の

このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。



相座 惣治さん  
(小原・79歳)

## 「いない」から「いる」への願い りんごづくりの長老は今

昭和21年からリンゴづくりをはじめた。間もなく息子と働くようになって、苦勞は多かったが毎日毎日たのしかった。  
息子に死なれてからはがつくりきて、でも、仕事をやめるわけにもいかないし、この歳になつてもがんばってんよ。だが、孫二人は後を継ぐ気はないようだし、おれ一代でおわりだな。  
若いものは村を出ていつて帰らねし、村の祭にも来る人は少ないし出店も少なくなった。  
昔は何回も仲人をしたもんだが、今は相手がいないんだから成り立つわけはない。子どもだも減つたし、いないづくしだ。  
「いない」ということは「なんにもない」ようなもので、「いる」ようにならねもんだが。



ひととは好んでふるさとを捨て去るはずはない。できるなら、いつまでもふるさとにいたいと思いつつもふるさとに帰りたいと思つている。  
明治四〇年秋、涙の中でふるさとを離れた謙三郎は、望郷の念を払いながら東京から大阪へとひたすら学問を極める道をつき進んでいく。大正二年、大阪府立高等医学学校を首席で卒業。同大学病理学教室助手となり、やがて大阪市衛生局長から大阪府立医科大学長となる。この前から桃山病院長が本職であり終生の仕事となった。この一連の功により大阪市立医科大学の名誉教授(初)となり大阪名誉市民の称号も授けられた。

## ふるさと 人国記 1

### 熊谷 謙三郎

―伝染病治療の父―

謙三郎博士は明治二十一年三月、宮宿町新宿の旧家熊谷惣治郎氏の長男として生まれ、明治三十五年に宮宿小学校を卒えて山形中学へ入学、父のことばを守り医者になるのである。

父から「お前は医者になつて村のために尽せ」といわれたが、大阪市の医療全般に専念し、ふるさとに還ることはなかった。しかし、謙三郎はいつも大阪の空の彼方に、ふるさとの山河を思い浮べていた。

母校の宮宿小学校に贈られた図書は数千冊に及び、謙三郎の死後も「熊谷文庫基金」の利子で寄贈がつづけられている。ふるさとの子どもたちに宛てた手紙には「人間は、たゆみなく勉強することによって、だれでもりっぱな人間になれます」と書かれていた。

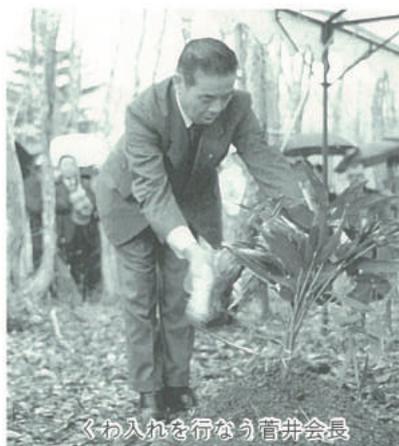
昭和四十三年十月に朝日町名誉市民の称号を授けられ、ふるさとの光として敬愛された。  
昭和五十六年六月十五日没。

文・杉 ひさし

# 「自然の営み」を鏡板に映し出す

## 空気神社起工式

7月中旬に完成予定



くわ入れを行なう菅井会長

四月二十四日、朝日自然観テーシ村北側の雑木林で「空気神社」建立起工式が行われました。

当日は、空気神社建立奉賛会（菅井敏夫会長）会員と、設計者の東北工業大学建築科の谷津憲司助教など関係者約五十人が、小雨の降りしきるなか神事を行い工事の安全を祈りました。社殿については、五層四方で厚さ三ミリのステンレス板を設置し、四季折々の自然の営みをこの鏡に写し出すというもの。またステンレス板の下は三層掘り下げて素焼きの瓶を入れ、板上の音を反響させるなどして能舞台としても活用できるものです。これまで町内はもとより全国各地から、約二千人の方々より熱心な浄財金をいただいた「空気神社」。完成予定は7月中旬。世界に類のない神社も今年の夏休みには参拝できそうです。

みなさん  
よろしく

## 「広報あさひまち」に さわやかな風を！

### ●新広報委員が誕生

町づくりの課題やお茶の間の話題を取り上げ、親しまれる「広報あさひまち」の編集にとりくんでいる町広報委員会。このほど任期満了になり次の方々を新たに委嘱しました。

## 町議会議員 海外研修レポート

### 東南アジアを歴訪して

四月十日から十七日まで町議会議員一行が、香港・タイ・シンガポール・マレーシアの四カ国を訪問。研修のようをレポートします。

四月十一日早朝、夜行バスで着いた一行は成田のホテルで仮眠をとり、午前八時すぎ物々しい警戒の成田空港に着。十一時出発のキャセイ航空、七四七型機で香港に向う。雨にけぶる香港空港で乗り継ぎ、一路シンガポールへ。右手にベトナムの海岸線を垣間見ると、南方特有の水蒸気雲がぼかりぼかり列をなして浮いている。おだやかな飛行である。

この雲を見ると阿川弘之の「雲の墓標」の描写を思い出す。かつてイギリスが東洋の真珠とたたきシンガポールを防衛するため、世界に誇る不沈戦艦プリンストンがオプウェルズとレンパルス号が日本の艦載機によってあえなく沈んだのもこの海である。夕暮れのジョホール水道を眼下にみて空港に到着。

シンガポールは「翔んだ若い女たち」の街だ。成田・香港をみて来た目には女性たちだけのような通関には目をみはる。流暢な日本語のバスガイド・ホテルの従業員・土産品店の従業員、観光客と接するのはたいてい女性達だ。この点が後日訪れるバンコク、香港とはちがうところである。



シンガポール、マーライオンパークにて

シンガポールは「翔んだ若い女たち」の街だ。成田・香港をみて来た目には女性たちだけのような通関には目をみはる。流暢な日本語のバスガイド・ホテルの従業員・土産品店の従業員、観光客と接するのはたいてい女性達だ。この点が後日訪れるバンコク、香港とはちがうところである。

なんとといっても治安の良い国・紳士の国であるのは立派なものである。長いイギリス植民地時代の長所を残した国づくりが感じられる。

一般住宅は高層ビル形式で公営である。古い建物は全体の二割程度で、あと数年で全部新型住居となるとはバスガイドの弁。しかし難民の集落は別だ。建物の一階はがらんと置いていて集会等に使われている。結婚式や葬式にも出合った。

観光客の通行する道路は周辺が刈り払われ、全島公園といった感じである。マ・ライオンパークや対岸のセントーサ島もみてもまわる。「イエスカノーカ」とせまった山下対パーシバルのロウ人形の陳列がナシヨナリズムの高揚となるのだろうか、若者達の目を光らせていた。

なにしろ観光名所をそこそこ、すぐ土産品店に連れていかれるのには閉口する。金持ち国日本の客とはいっても、貴金属店などは一度ものぞいたことのないものには。

ゴミ、煙草の吸がらを捨てれば罰金五千円、「やむなく煙草を吸う方はバスの後の席に」と、うながされて、ごそごそと後の方に座り直す一幕も。にわか紳士にはなり難いもの。

香港とはちがいがゆったりとした地面空間をとった近代的高層建築が目立つ街並は、この国の生活程度の高さを感じさせる。

若干の農業や製造業もあるが、



四季の変化を映しだす長沼

# 沼のほとりにたたずむ

## 高台の集落

(長沼)

町の中心部宮宿から北西へ四  
越の高台に位置する長沼は、戸  
数二十四戸の小さな集落です。  
ほとんどがりんごや水稲を作っ  
ている兼業農家です。

集落の歴史は古く、大沼から  
朝日岳へ行く修験者たちの通過  
点として栄え、今でも古い道標  
が残されています。

標高四七一メートルの野々山  
頂上に、こんもりとした松の古

木に包まれた野々山虚空蔵尊が  
建立されています。高いの神様  
として、今も多くの参拝者が訪  
れます。  
ここからの眺めは、眼下に広  
がる五百川盆地と最上川の清流  
を見渡すことができ、まさに一  
服の清涼剤といったところ。朝  
日連峰から吹き降ろすさわやか  
な風と小鳥たちのさえずりは、  
疲れた体をリフレッシュさせて  
くれます。

また当集落には、名前のとお  
り長い沼があります。周囲五百  
メートル、面積一・五ヘクタ  
ール、貯水量三万トンの溜池は、  
十五ヘクタールの水田を潤して  
います。

(阿部弘美広報委員)

- 委員長 鈴木 久夫(沼 向)
- 副委員長 堀 重雄(元 町)
- 委員 阿部晃士(企画情報課長)
- 今井 仁志(大 町)
- 小松 敬 (今 平)
- 五十嵐義行(中 沢)
- 遠藤 喜由(栗木沢)
- 清野 義信(商工会)
- 水沼 和子(大谷七)
- 堀 敬太郎(大谷一)
- 新委員 齊藤 孝子(八ッ沼)
- 西沢 敬子(西 沢)
- 渡辺 豊文(送 橋)
- 松田 栄子(栄 町)
- 〃 佐藤 早苗(宿 )
- 〃 鈴木 高光(元 町)
- 〇役場内委員/斉藤ひとみ(税務課)
- 小川澄夫(住民課)
- 阿部弘美(保健課)
- 長岡典巳(農林課)
- 花山 護(建設課)
- 斉藤文子(商工観光課)
- 阿部政彦(出納室)
- 清野直治(朝日自然観)
- 鈴木 芳文(生涯学習課)
- 〇事務局/企画広報係 長岡重利
- 利係長・橋間友則・阿部喜栄治
- 高橋さだ子各主事

生鮮食糧品は対岸のマレーシアに依存している。  
ジョホール水道も狭い所は八〇〇以位で築土堤になっていて、百以程の橋が連がっている。対岸のジョホールバル市に行つて旧貴族の屋敷も見学。この通関は物資運送のトラック野郎たちのものであるだけに、男子の職員・警官の姿もある。朝マレーシア

から来てシンガポールの安いガソリンをつめていく車のため大混雑だ。  
行きも帰りも世界の空の老舗キャセイ航空の世話になったがなかなか味のある接客ぶりだった。スチュワーデスは中国、マレーシア、インド人系など日本人も数人いた。機内食には、和食も取り入れ選べるようにしているなど、心にくい経営ぶりである。

あった。  
日本人はアジアの国々を、経済面で低く見下すようなところがあるが、彼らのバイタリティ溢れる生活、くつたくな笑いそれは、物”はないが、”ころ”豊かに生きているという証ではないだろうか。今回の研修はアジアの人たちに学ぶ点が多く、実りあるものとなった。  
(町議会広報委員長 清野力二)

## 納豆シンポジウムを後援

### 都市と交流の芽生え

去る四月二十八日、神奈川県藤沢市で日本の伝統的な食品「納豆」の持つ蛋白質資源を見直し、世界に広めようと「納豆シンポジウム」が開催されました。これは、地元藤沢市の有志が実行委員会を組織し主催したものの。今年三月の「農業講演会」講師の藤本敏夫氏のほか大学教授らがパネラーとして登壇、多くの市民が参加し盛大に行われました。わが町のような山間地農業が、その特性を活かすのよう

に発展していくのか。そのひとつとして、都市との交流を検討しているところであり、町と農協も地元藤沢市とともに後援しました。



またたくまに売り切れた山菜の直売

# 「ママに比べて本のおうちだべ」

## 暮らしの中に図書館を



楽しい本がいっぱい

ご存じでしょうか、中央公民館の二階にある町立図書館。図書館は学生や研究者など特定の人たちだけのものではありません。だれでも気軽に利用できるみんなの図書館です。ごいっしょに、ちよつとのぞいてみませんか。

### 図書館は「本のおうち」

はじめて図書館に入ってきたN君、びっくりした顔で「ママ、ここ本のおうちだ」。大きな街の図書館と比べたら見るからにちっほけで小さな図書館ですが、二歳のN君には「本のおうち」に見えたのでしよう。

過日、日本一を誇る千葉県浦安市の図書館を見学してきたというSさんからは「朝日町の図書館はいろいろな資料がそろっていて使いやすい。浦安に勝るとも劣りませんよ」と、思いがけない賛辞をいただきました。現在、町立図書館の蔵書数は一般書が一万六千冊、児童書が六千冊の計二万二千冊。そのほか行政資料や郷土資料がところ狭しと並んでいます。購入している雑誌は『週刊朝日』、『趣味の園芸』、『主婦の友』など十六種。寄贈いただいている雑誌は『グラフNHK』、『フォート』、『自然医学』、『青年』など三十八種と豊富です。

また、辞典などの参考図書もすっかりそろっています。それでもわからないことがあれば、県立図書館を中心にネットワークされた近隣市町の図書館が調べてくれたり、あるいは本を貸し出してくれるしくみになっています。

### 貸し出し数 年三千九百冊

「子供たちの活字離れが進んで、本を読まなくなつた」とか言われてから久しくなりますが、ほんとにそうかと考えさせられます。学校が午前中だけの授業になつたとか休校という日は、朝から子供たちが出たり入りたりしています。貸し出しもふだんの五、六倍になります。また、グループで調べたり作ったりという時にも子供たちはとても上手に利用しています。

図書館で直接貸し出している本は、一年間で約三千九百冊ですが、そのうち半分以上は子供

### 新刊書案内

◇おもしろ江戸の雑学 / 北村鮭彦

◇ゴルフ場亡国論 / 山田國廣

◇もっとステキに色を着る事典 / 高橋ユミ

◇幕末維新おもしろ事典 / 奈良本辰也

◇薔薇の名前(上・下) / ウンベルト エーコ

◇わが人生の旅(上・下) / 森 敦

◇国際情報 / 落合信彦

◇アウト オン リム / シャリー マクレーン

◇シベリア追跡 / 椎名 誠

◇狼たちの伝言 / 落合信彦

◇りんごの涙 / 俵 万智

◇宮沢賢治と植物の世界 / 宮城一男 他

◇森からのおくりもの / 川瀬 清

◇木に学べ / 西岡常一

◇シングル感覚 / 谷本 幸

◇江戸大名一〇〇話 / 小和田哲男

◇四千万歩の男(一)〜(三) / 井上ひさし

◇イエスタデー / ワンス モア / 小林信彦



子供たちがいちばんの「おとくいさん」。

図1 図書貸出登録者数の推移(5年間)

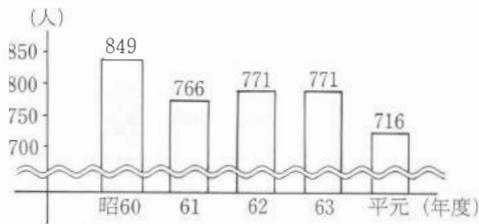
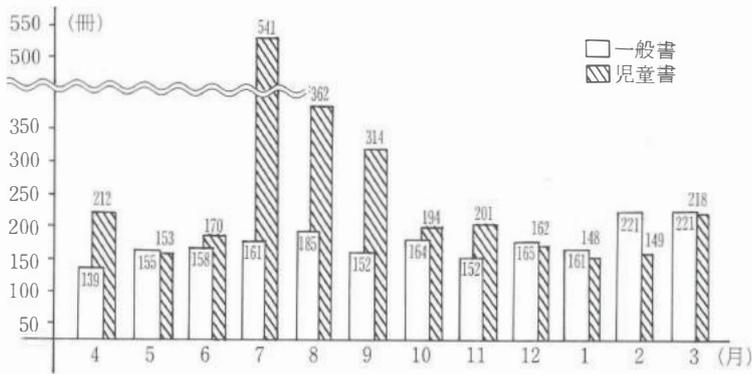


図2 月別図書貸出冊数(平成元年度)



## 図書館は あなたの本棚

赤ちゃんをおんぶしたお母さんが絵本を探したり、幼い子供といっしょに本を読んだり、年

の本です。そのほか、送橋小学校、水本小学校、立木小学校、大沼分校、大暮山分校の五校を巡回して貸し出している本は三千八百冊。宮宿公民館文庫や水本、大沼、大暮山の各幼児学級で貸し出しされる数も加えればおよそ八千冊になります。一般人への貸し出しに比べ、子供たちはいぶん多くの本を読んでいることがわかります。

家庭の中で、本はなかなか廃棄しにくいものです。そのうちだんだんたまってしまいます。

「庭のつくり方は?」「このキノコ食べられる?」「くん製のつくり方は?」「結婚式のあいさつは?」と調べにこられるかたも少なくありません。何冊か紹介して納得のいく解答が得られるまで不安ですが、利用者からにっこりと笑顔がかえってくる時が一番うれしい時です。

どうしても手もとにおきたい本は別として、一度読むだけという本はぜひ図書館をご利用ください。読みたい本をリクエストすることもできます。もちろん図書館の利用は無料です。

開館時間は、朝の八時三十分から夜の七時まで。ただし、毎月第三日曜日と月末日は休館となります。みなさんのおいでをお待ちしています。

(町立図書館 司書 小関典子)

## 寒河江・西村山が七位

### 地元から五選手出場

#### 県縦断駅伝

県内十一地区対抗の第三十六回県縦断駅伝競争大会が四月二十七日から三日間、二十七区間三〇〇・四キロのコースで行われました。上位入賞をめざす寒河江西村山チームは、今野幸昭監督(西町)を中心に健闘しましたが、タイム十六時間四十分三十三秒と総合七位に終わりました。朝日町からの出場選手/斎藤和彦(杉山) 海野宏行(送橋) 菅井繁美(大隅) 早坂健一(大谷五) 小林正人(大沼)



地元宮宿中断所に走りこむ斎藤選手

- ◇小伝抄 / 星川清司
- ◇表層生活 / 大岡 玲
- ◇ネコババのいる町で / 瀧澤美恵子
- ◇私が殺した少女 / 原 遼



●松程/長岡 睦さん きよみさん

# さわやか新婚さん

睦さんが東京からUターンして、間もなく、きよみさんに出合って一目ぼれ。即デートを申し込む。彼の押しの一手に頼れる男の魅力を感じ、電話のプロポーズにもOKをしたという。

「お互い思いやりを大切に、子供は3人ぐらいのアットホームな家庭をつくりたい」と照れながら話してくれた彼。名前のとおりきつと仲睦ましい家庭を築くことでしょう。

(渡辺豊文 広報委員)

## 人口と世帯数

●平成2年4月30日現在

人口	10,706 (Δ53)
男	5,308 (Δ19)
女	5,398 (Δ34)
世帯数	2,590 (Δ4)
	( ) 内対前月



### やすらかに

(死亡届)



### おしあわせに

(婚姻届)



### すくやかにかに

(出生届)

川通	志藤俊一郎	大谷	大谷通	志藤俊一郎	大谷	大谷通	志藤俊一郎	大谷	大谷通
志藤俊一郎	大谷	大谷通	志藤俊一郎	大谷	大谷通	志藤俊一郎	大谷	大谷通	志藤俊一郎

本紙四月号の6ページ「町職員の人事異動」で農業委員会農地調整係長阿部忠男(水道事業所業務係長)が漏れしました。おわびして訂正いたします。

### おわびと訂正

平成四年に行なわれる「べにばな」国体のデモンストレーション競技として「壮年ソフトボール競技大会」が、同年九月朝日中グラウンド、秋葉山グラウンド、西部総合グラウンドを会場に開催されます。町民のみならずのご協力をお願いします。



### 情報箱

#### べにばな国体

### 「ゆりの山」記念緑のプレゼント

恒例となった緑のプレゼントが、四月二十七日西部地区公民館前で行われました。

これは「みどりの日」を記念して、西村山緑化推進委員会が主催したもの。ふたば保育園の代表園児や地区民の待ちうけるなか、「緑を育てて下さい」と百本のサツキが小林町長らの手で手渡されました。



## 春夏秋冬

### 編集後記

先にお届けした四月号から紙面を一新した「広報あさひ」より読みやすく時代にマッチしたものと検討を重ね、四月一号からふみきったもの。町の新しいイメージと、朝日町の名を全国にアピールする意味をこめ、表題も「広報あさひまち」に。この文字は、「朝日自然観」とともに先のCI委員会で検討されたロゴを使ったもの。

編集子一同二色刷りのカラも、四季折々に変える予定。新緑のさわやかな、芽吹きがいきおいを増す季節。より親しまれる茶の間の情報紙として、みなさんともいっしょにおいを増して歩み続けますので、よろしくご協力を。なお、広報紙の新しい保存用ファイルは現在作成中ですので、もうしばらくお待ち下さい。(係)